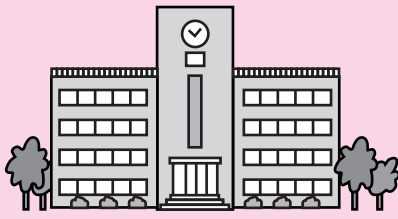


一般質問から

「いじめ」のない学校を

Q いじめから子どもを守れないケースが繰り返されています。対応を後回しにしない、子どもの命最優先の原則（安全配慮義務）を明確にする。解決はみんなの力で。子どもの自主活動を高め、いじめを止める人間関係をつくる。いじめる子にはやめるまでしっかりと対応する事などについて伺います。

A 学校は子どもにとって安心・安全な場所であり、教育環境をつくり・整えることは教職員や教育委員会の責務と考えています。いじめを放置したり、隠蔽したりすることは絶対に許されないと認識しています。「いじめ根絶」の緊急アピール「「いじめ」をうまない 見のがさない 許さない」教育を推進してまいります。



高齢者肺炎球菌予防接種助成金について

Q 高齢者にとって肺炎球菌ワクチン接種は発症予防や重症化防止に効果がありますが料金が高額なため接種率が低い状況です。肺炎防止のため公費助成金をお願いしたい。

A このワクチンは肺炎の重症化を予防するうえで有効とされています。インフルエンザから、肺炎を併発することが多いことからまずはインフルエンザ予防接種をしやすい環境づくりと、接種率の向上に努めています。肺炎球菌ワクチン費用の一部助成については、三郷市が75歳以上の方を対象に4千円



14番 瀬戸 知英子

の公費助成を行っています。八潮市では行っておりません。現在、厚生労働省の感染症分科会予防接種部会におきましては、予防接種法の定期予防接種の対象となるワクチンの一つとして位置づけ、詳細な検討を行っておりますことから、国・県の動向を注視し慎重に対応してまいります。

公文書管理条例の制定について

Q 昨年の6月議会で、「公文書の価値・重要性については、本市の情報公開・個人情報保護審査会委員からも指摘されている。本市は、資料館があり、条例化に向けた環境というのには比較的整っており、条例化については引き続き検討していきたい」と答弁があった。

また、資料館職員も国立公文書館発行の「アーカイブス43」に「今後の課題」として、市の公文書管理条例策定に向けた関係各課との調整・協議、条例施行を視野に入れた歴史公文書管理体制の整備を挙げている。その後の検討結果を伺う。

3番 矢澤 江美子

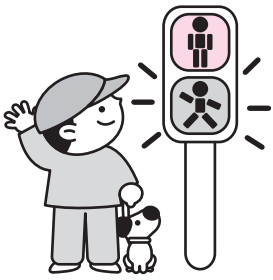
書庫や収蔵のスペースをはじめ、ファイリングシステム導入前の文書や歴史的公文書等の整理、取り扱いなどの課題もあることから、条例化についてはこれらの改善が図られた後に取り組んでいきたい。なお、ファイリングシステム導入前の文書整理には、現在の人員体制では十年はかかる見込みです。

交通行政について

Q 伊草地区内にある葛西用水沿いの一方通行路の速度規制の設置及び同路線における歩行者の正しい通行の指導についての考えをおたずねします。

A この道路は、平成24年10月に一方通行の交通規制が実施されました。しかしながら、同路線は、速度規制が実施されていないことから、草加警察署を通じて埼玉県公安委員会へ要望してまいります。

歩行者の通行方法については、各小学校、中学校及び幼稚園・保育所において実施しております交通安全教室におきまして、



17番 豊田 吉雄

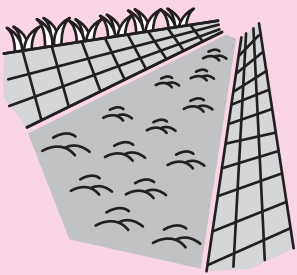
正しい道路の横断のしかたや正しい道路の通行等の安全教育を毎年実施しています。今後においても、交通事故防止の観点から引き続き実施してまいります。

八条用水の農閑期の汚れについて

Q 八条用水の農閑期の汚れ・臭いに対しての市の対応をお伺いします。

A 農閑期における通水は、ゴミの堆積や臭いの軽減に、有効な方策のひとつであると考えられます。

現在、埼玉県と南部葛西用水三市連絡協議会、八条用水路土地改良区が連携を図り、埼玉県が実施している「川のまるごと再生プロジェクト事業」のなかで、八条用水路についても、冬期試験通水が早期に実施できるよう、検討を行っています。今年度は、南部葛西用水三市



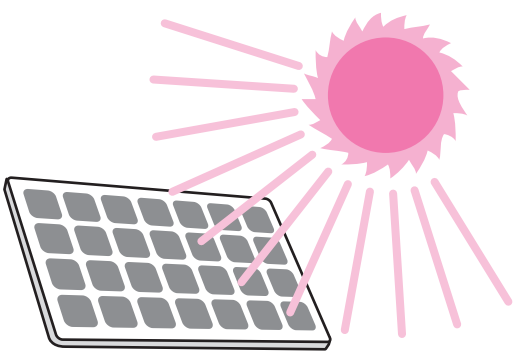
12番 戸川 須美子

連絡協議会の検討結果を受け、埼玉県春日部農林振興センター農村整備部が、八条用水路への導水施設の準備を進めるため、現状調査を行っており、冬期通水の早期実現に向け、努めているところであります。

太陽光発電について

Q 本市では、本庁舎の耐震診断を実施していますが、庁舎屋上に、太陽光発電設置の計画の推進について、お伺いします。

A 庁舎耐震診断を現在、実施しているところであります。本年度末にはその結果が出る予定となっております。その診断結果を踏まえて平成25年以降、具体的な庁舎の耐震補強や改修について検討する予定ですので、太陽光発電の設置が可能か、どうかを考えていきたいと思います。



13番 小倉 順子